

大江文庫からごきげんよう



目次	
巻頭言 新聞 よしみ	2
本の周辺 田中 清章	3
本の周辺 吉川 晴美	4
書店ツアーについて	5
データベースを活用しよう	6
図書館のあれこれ no.3	7
学生編集スタッフのおすすめ図書	8



え？私がトショカンチョーですか？

本学に就任して11年目の春。全く予想外の展開であった。それが自分に与えられた使命ならば、たとえ力不足であっても努力するしかない。しかし、よりによってその使命を果たす場が

図書館であるとは。

正直なところ、私はこれまで図書館という場にさほど縁がなかった。もちろん、子どもの頃から、身近な図書館で興味ある本や雑誌を探したり借りたりして読んできた。また、学生時代には落ち着いて勉強できる場の一つであった。大学教員になってからも教育・研究に必要な情報にアクセスさせてくれる図書館というシステムには大変お世話になっている。しかしながら、例えば子どもの頃から読書好きの文学少女であったとか、図書館が大好きで落ち着くとか、図書館に特別な関心や親近感を抱いていたわけではない。わかりやすく言えば、子どもの頃の学校の図書貸出カードはたいい数行の履歴だけで白くてきれいなままだった。本学の教員になってからも図書館に足を運ぶのは年に数回程度だったと思う。そのような私が図書館長を務めさせていただいて良いのだろうか。伝統ある本学附属図書館歴代の錚々たる図書館長陣や教職員、学生に申し訳ない、と。

不安でいっぱいの中、着任した昨年4月は、天野前学長、岩見前図書館長を始め様々な方々の多大なご尽力によりようやく完成した町田キャンパス大江記念図書館の新しい空間、ラーニングコモンズが船出を迎えた時だった。1階のゲートを抜けるとすぐに目の前に広がる開放的な空間。真っ白な可動式テーブルと椅子、ホワイトボード、真新しい電子黒板や大型スクリーン・プロジェクター（グループワーク・スペース）。明るい陽射しが差し込む窓際には、ピンクのソファと低い角テーブル、可愛らしい白くて丸いミニテーブルが並び、その背に白く低い雑誌架が圧迫感を与えずに空間を区切っている（ディスカバリー・スペース）。中央の階段下にはテーマに沿った図書がオブジェのように目に美しく立体的に展示され、スポットを浴びている（コモンギャラリー）。すべてが新鮮だ。にわかにワクワクしてきた。

装いも新たに出航した図書館という2階建ての大型船は、これまで長年にわたる航海を経て多くの貴重な情報・図書・資料という「知の宝」をぎっしりと積み備えており、優秀なクルーである学術情報グループスタッフ、業者スタッフ、学生スタッフがそれらを大切に守り、整理し、過去から未来へと運び続けている。また、エントランスから船の隅々まで、乗客が「知の船旅」を存分に楽しめるよう環境が整えられ、年間を通して様々な企画イベント・展示が行われている。乗船は学内関係者だけでなく、広く学外の方々にも開放されている。

新米クルーである私は、まず、学生乗客とともに自分の授業でグループワーク・スペースを利用してみることにした。設備の利用の仕方がわからない時は、いつも親切なベテランクルーたちが助けてくれた。「現代生活論」では、初めて電子黒板とマイクを使用して課題を示し、その後学生乗客に船内を自由に探索しながら課題に取り組んでもらった。「保育学」の授業では、私よりも早く上手に電子黒板やホワイトボードを使いこなし、課題発表に活用する学生乗客の姿に感嘆した。「卒業研究」では一年を通して定期的にゼミで利用させていただいた。そのうち、（少しはクルーらしく）学生乗客に「わからないことがあればカウンターに行ってください。ここで働くクルーたちは、あなたたちが必要とする情報に繋いでくれるし、レポートや論文を書くのに困った時は個別にサポートもしてくれますよ。あそこ（ラーニングサポート・スペース）あたりでね。」と案内する余裕も出てきた。

しばらくして、船内の乗客たちをあちこち見回してみると、それぞれお好みの場所で「くつろぎの時間」と「集中の時間」を過ごしている姿が見受けられた。私が専門とする保育の世界では、「養護と教育の一体性」を原則としている。子どものみならず、人が集中して学ぶためには、基本的にそこがその人にとってくつろげる場であることが大切なのだと思う。くつろぎと集中の時間を与えてくれる大型船。クルーとしてはまだまだ力不足であるが、いつかこの魅力的な船の本物の艦長になりたい。この春には、無線LANが導入され、より利便性と快適さが増す予定である。多くの乗客・クルーで船内がますます活気づくことを切に願っている。

（図書館長）



若い頃ある本屋で衝撃的に出会った本

田中 清章

若い頃に出会った本のうち、最も衝撃的であった二冊の本は、その後の私の考え方と方向性に大きく影響を与えることとなった。

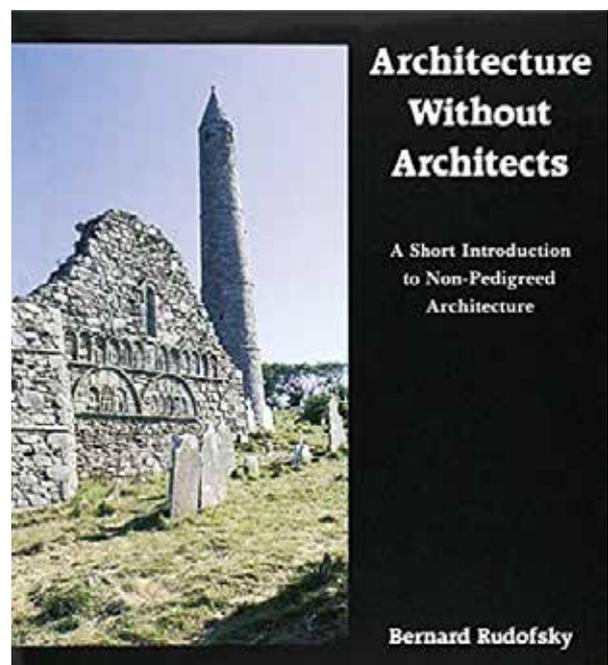
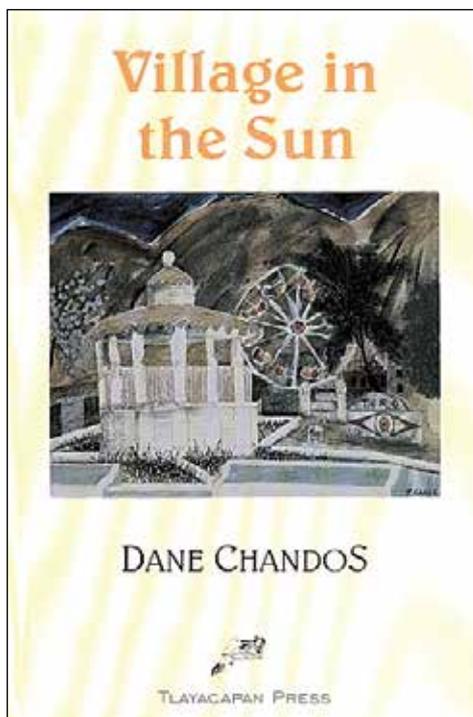
その本は、『Goldfinger Village in the Sun -Mediterranean by Community Architecture-』（Myron Goldfinger Praeger Publishers New York- Washington 1969）及び『Arcitecture without Architects』（Bernard Rudofsky / 1964 / Doubleday & Company, Ink, Garden City, New York）の二冊である。

「Village in the Sun（太陽の村）」の内容は、伝統的な一般庶民の民家が各地に点在する土俗的な集落や建造物群を詳解したもので、特に地中海の沿岸に位置するギリシャ、イタリア、スペイン、モロッコ、チュニジアの建造物と数多くの著名な建築家であるル・コルビジエ（Le Corbusier）、ポール・ルドルフ（Paul Rudolph）、丹下健三（Kenzo Tange）、他などが設計した近代建築とを比較し、それを分かりやすく解説したものである。当時、学生にとっては42ドル（360円／ドル）もする高価な本であった。これを夜な夜な仲間達と寄って集って翻訳しあったのも良い思い出である。

「Arcitecture without Architects（建築家なしの建築）」は、当時の建築学科に所属するあらゆる学生達が読んでいたもので、無名の職人達が造りあげた数多くの建造物を詳解している。なお、1984年渡辺武信氏の翻訳でSD選書より出版されている。

これらを読み、如何にしても、本物を見てみたい、体験してみたいという衝動に駆られ、1972年三ヶ月間、地中海沿岸地域の国々に現存するこの二冊に登場した建造物の体験視察に出た。南回りのアリタリア・イタリア航空で35時間をかけて、パリのシャルルドゴール空港を経由して、パリ～バルセロナ間を結ぶ国際特急列車のバルセロナタルゴでバルセロナ到着、ここを拠点に7万キロの自動車の旅の始まりであった。少なくとも、紹介されたもの全てを訪れる予定であったが、当時の国々の内政問題等から、訪問できないものもあった。しかし、スペイン、ポルトガル、フランス、イタリア、ギリシャはほぼ全件、チュニジア、モロッコ、エジプト、トルコは各数件を体験することができた。これに感化されたのかどうかはわからないが、帰国してすぐに取りかかったのは九州地域における建築家なしの建築の調査研究であり、特に、南西諸島をはじめとする琉球孤の島々、五島・壱岐・対馬等の離島民家、中国の雲南省・陝西省や朝鮮半島及び台湾高砂族のルカイ族の民家等を精力的に現地調査を行った。外国調査の場合は、各種団体からの補助金をいただき、また学生時代の留学生の友人や教え子の留学生に協力を仰いだ。最近タイ・ベトナム・ラオス・カンボジア・ミャンマー・インドネシア・フィリピンを訪れ調査を進めている。現在、「九州の石の文化」（図書出版 弦書房）を執筆中であるが、なかなか進まないのが現状である。

（生活デザイン学科 教授）





悩みの現場に臨む一人間存在とは何かを考える

吉川 晴美

■ 『わたしを離さないで』 カズオ・イシグロ著 土屋政雄訳 2015年(第45刷) ハヤカワ文庫

■ 『臨床の知とは何か』 中村雄二郎著 1992年(第1冊) 岩波新書



私は、本大学で発達臨床心理学や児童学関係の科目を教えながらも、たえず「臨床」に興味、関心を抱いてきた。様々な現場で子どもや家族、また園や学校などに関わってきた。臨床とは「床に臨む」という意味で、はじめ医学に、最近では心理学・教育学・社会学・法学等の領域にお

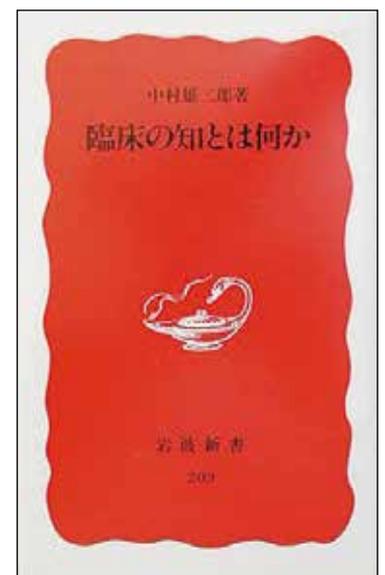
いても「現場を重視する立場」から使われる。ここでは「人間存在とは何か」「悩みの現場に臨む臨床家として」新たな視点をもたらしてくれた本について取り上げたい。

ひとつは『わたしを離さないで』である。著者カズオ・イシグロは、長崎県出身の日系イギリス人作家で、国際的に高い評価を得、将来のノーベル文学賞候補とも言われている。ストーリーは、優秀な「介護人」キャシーが臓器の「提供者」たちの世話をしているところから始まる。この「提供者」は、森の奥深い周囲から遮断されたヘルシャムと呼ばれる教育施設で育てられたのである。キャシーも生まれながらにしてこの施設で育った提供者である。施設を出て大人となったキャシーは、閉鎖的な施設での子ども時代を回想していくといった展開である。私はまず、限定され極限的な状況、過去と現在で織りなされる人間関係により表される抑制された感情と謎めいた展開に引き込まれた。なぜ登場人物が介護人と提供者なのか、そこには今日の科学、遺伝子工学の発展の光と影や生と死の問題が現され、文学的なテイストのなかで私たちに鋭い痛みとしてつきつけられる。自身の利益のために、何かを犠牲にしながら生きる人間の傲慢さに気づかされる。誰でも誕生の条件、環境は自分では選べない。そのなかでどう人間らしく生きるか。それにしても、救いはヘルシャムの施設での子どもたち。コピーとして人工的に作られた、その誕生と臓器提供者としての未来は過酷であっても、子ども時代は人間的でオリジナル

な可塑性に富んだ明るさ、しなやかさとして表現されている。子どもの存在、教育の使命とは何かについて、逆説的な普遍性をもって著わされていると感じられた。

もう一冊は『臨床の知とは何か』である。著者中村雄二郎は哲学者である。現代の文明や科学の行き詰まりに対して「臨床の知」の重要性を提起する。「臨床の知」は演劇的方法、行為的直観と強く結びついている。「科学の知」は冷ややかなまなざしの知にたいし、「臨床の知」は諸感覚の協働に基づく共通感覚的な知であるとする。「臨床の知」が「場所や空間が人と有機的に結びついた意味ある領域」、「物事の多義性と「その自覚的表現」「諸感覚の協働にもとづく共通感覚的な知」「行為する人や環境との身体性を帯びた相互作用」に注目する。臨床は、個人や集団の悩み、問題が生じている現場に真摯に臨み、今ここで、その場や空間が人と結びつき回復への重要な意味ある状況である。行為の主体として周りとは有機的に結びついて、状況が多義的に転換していく過程について、まさに私がこうありたいとめざす、臨床的な営み、またその方法のひとつとして行っている心理劇(行為法)の意味を表していると、実感した。

以上の2冊の本は、全然違うようであるが、ある点では共通している。現代の文明や科学をもっても、解決できないことが沢山あり、それではどうするかという問いでもある。今日の私たちの環境や社会にまで感覚や意識を拓き、人間の営みを多様な視点から探求、真実へ接近し、当事者の痛みを寄り添い共有し支援する臨床が重要であるという思いに至ったのである。



(児童学科 教授)

噂の…

学生編集スタッフによる

書店ツアー へようこそ

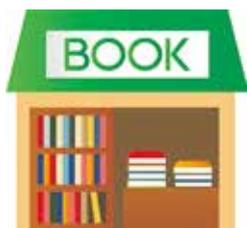
毎年、7月頃に行われる、書店ツアー。2015年度は丸善、丸の内本店へ行ってきました！

普段から図書館でも、手続きを行えば私たちが希望する本を購入してくれますが（リクエストといいます）、実際に自分の目で見て、手に取って本を選び、図書館がその本を買う、という書店ツアーというイベントは、とても魅力的です。

みんなに是非読んでもらいたい本、いつでも読めるように図書館に置いておきたい本、今後の授業で役立つであろう本、高価で自分ではなかなか入手できない本など、この日は思う存分本を選んで、買うことができます。

来年はどこの書店へ行くかは今のところ未定ですが、過去には三省堂書店の神保町本店、紀伊屋國屋書店の新宿南店など大きい書店に行っているので、今後も期待できますね！

本が好きな方、参考文献を自分で選びたい方、大学のイベントに参加してみたい方など、是非とも次回の書店ツアーへ参加してみてください。きっと良い本に巡り合えますよ！！



好きな作者の本を揃えた方

★図書館戦争のシリーズ

★植物図鑑など

著者 有川浩

現在 23冊が図書館にあります。

シリーズもの全部を揃えて
本を選んだ方もいます

★精霊の守り人 上橋 菜穂子

全 10冊 + 短編集 1冊



2015年度 丸善、丸の内本店前にて

今までの書店ツアー（過去4年間）で選ばれた中で一番高価な本

★The Hobbit : the Desolation of Smaug Chronicles: Cloaks&Daggers

著者 Daniel Falconer

映画『ホビット 2』の衣装や美術品の紹介本 5,760円 + 税

国立国会図書館の「デジタル化資料」送信サービス

海外の国立図書館が自館で所蔵する貴重書を画像化してインターネットで公開することは、いまや世界の潮流となっていますが、日本でも国立国会図書館が、所蔵する資料をデジタル化（画像化）して、その多くをインターネットで公開しています。

古典籍などの貴重書のほか、近・現代の図書、雑誌、歴史的な音源など、私たちは居ながらにしてたくさんの資料をネット上で閲覧することができるのです。

しかし、すべての画像が公開されているのではなく、国立国会図書館の施設内での利用に限られているもの

もあります。

そこで、国立国会図書館では、平成 26 年 1 月から承認を受けた全国の図書館内でのみ、公開されていない入手困難な資料の画像を、インターネットで閲覧・複写することができるサービス、図書館向け「デジタル化資料送信サービス」を始めました。注①

本学図書館では国立国会図書館に承認申請を行い、千代田三番町、町田の両方の図書館で、平成 27 年 1 月からこのサービスの利用ができるようになりました。注②

インターネット等で国立国会図書館デジタルコレクションなどをご利用の際、

国立国会図書館／図書館送信限定 というマーク、あるいは

ログインしていないため、資料を閲覧できません。

という画面が表示されるものは、図書館向け「デジタル化資料送信サービス」対象の資料です。

図書館向け「デジタル化資料送信サービス」の対象となる資料は、国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等の理由で入手困難な図書、古典籍、雑誌、博士論文です。

たとえば、『月刊国民生活』（国民生活センター編）という雑誌は、「デジタル化資料送信サービス」では 1971 年の創刊号から 2000 年刊行のものまでが公開されており、いっぽう当館では 1982 年から 2012 年の最終号までを所蔵しています。

国会図書館のサービスを利用することによって、この雑誌の創刊号から最終号までを図書館で閲覧・複写することが出来るようになりました。

今までは、図書館で所蔵していない雑誌の論文が必要な時は、文献複写でのコピー取り寄せや CiNii Articles の本文リンクなどで本文を入手していました。国会図書館のデジタル化資料の利用により、文献入手のための手段がいっそう広がったのです。注③

注① すべて閲覧できるようになったのではなく、国立国会図書館内での閲覧となるデジタル化資料もあります。

注② このサービスを利用できる方は、本学学生・教職員および当館の利用証をお持ちの方に限られます。

注③ デジタル化資料送信サービスでは、図書館内の決まった端末で閲覧をし、画像の印字は指定されたプリンタで図書館員がおこなうことが定められています。

本学教員寄贈著書紹介

平成 27 年に寄贈を受けた本学教員の著作等を紹介いたします。ご寄贈いただきましてどうもありがとうございました。今後とも著作物出版の折にはご寄贈いただければ幸いです。

■岩見哲夫

小学館の図鑑 Neo 魚 新版 小学館 2015

■白井 篤

建築材料新テキスト 彰国社 2014

■西海賢二

山村の生活史と民具 岩田書院 2015

葛飾・柴又地域：文化的景観調査報告書
柴又地域化的景観調査委員会 2014

クロス、石鎚敬神婦人会報「たかね」 論文多数

■原口秀昭

ゼロからはじめる構造力学演習 彰国社 2014

ゼロからはじめる RC+S 構演習 彰国社 2014

ゼロからはじめる環境工学入門 彰国社 2015

■信田理奈

ジェンダー平等の国際的潮流 三恵社 2015

■小口悦子

オリジナルレシピ キャベツ食べる JA 横浜 2014

町田

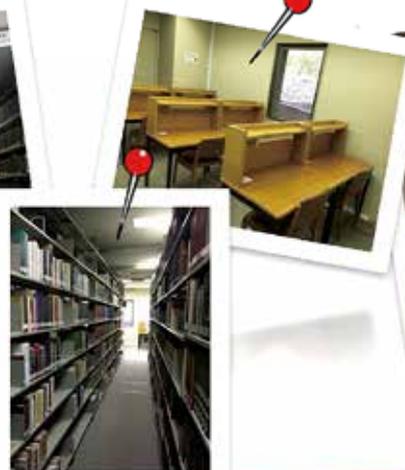
どちらの書庫も2階の奥にあります

C書庫

主に歴史や哲学関連の本がある書庫。
神話・宗教関連や心理学関連、PCの技術書なんかもあるのでいく人によっては宝の山みたいところだったりする。
個人用の閲覧スペースもある上にかなり静かなので勉強にもうってつけの穴場。

D書庫

雑誌のバックナンバー、各大学・研究機関の紀要がある。雑誌も紀要も貸出し可能！大きな電動書架が自慢の書庫。
雰囲気ちょっと怖いのはだけにご勘弁。



学生から「なんだか怖い」と評判の書庫をご紹介！

図書館あれこれ 第3回

普段行かない書庫に注目!!

三番町

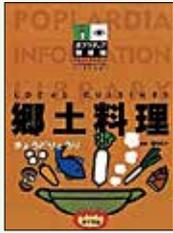
K書庫

主に雑誌のバックナンバーと大学の資料が保管されている。ここも電動書架。書庫の中にOPAC(蔵書検索システム)があるので本が探しやすい。本棚に入ると自動で電気が点く。出るときは消していこう。



学生編集スタッフのおすすめ図書

図書館報の学生編集スタッフがおすすめする、生活と人生と勉強に役立つ、図書館にある楽しい本の数々です。他キャンパスの図書は取り寄せして読んでみよう!!



郷土料理

料理は地方によって様々です。この食材をこう食べるのかと感動したりします。この本は、都道府県ごとに郷土料理を紹介をしていて、ペラペラと見ているだけでも面白いです。

三番町 請求番号 383.8/キ 58



背が低めの人々のファッションルール

150cm 台以下の人のためのファッションバイブル。服に着られている感じでなんだかうまく決まらないうと悩んでいた時にすごく参考になりました。

町田 請求番号 593.36/フ 5

文化式原型をやさしく解説したアイテム別基礎作図集

ブラウス・ワンピース・コートなどのアイテム別に様々なデザインの型紙の引き方が載っている本。コツさえ掴めば応用ができるので目を通しておきたい一冊。

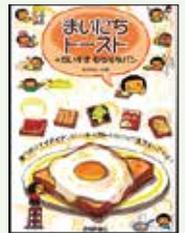
町田 請求番号 593.36/カ 21



まいにちトースト + だいすきもちもちパン

パンを使った料理の作り方を、イラストとともに紹介しています。忙しい日の朝ごはんやちょっとしたオヤツ作りに、是非活用してみてください。

三番町 請求番号 596.6/タ 34



知識ゼロからのパスタ入門

パスタの種類は多くあり、料理によって、ソースによって合う合わないがあります。パスタの名前や特徴の他に小麦粉から作るパスタのレシピ、美味しいソースのレシピも載っています。

三番町 請求番号 596.3/イ 18



ストーリー・セラ

小説家を主人公とした、恋愛物語です。夫婦愛について書かれており、読んでいてお互いの想いの深さにホロリときました。家で一人で読むのをオススメです。

三番町・町田 請求番号 913.6/ア 77

しゃぼん玉

人間の葛藤や優しさ、他人を想う気持ちが書かれていて、スッと読者の中に入ってきます。もっと早く読んでおけば良かったと思う本です。過去は無理でも、未来は変えることができます。

三番町 請求番号 文庫/ノ 15



ボッコちゃん

50もの短編の話が詰まった一冊です。独特な世界観で描かれる物語はどれも魅力的で惹かれます。話自体も短いのでかなり読みやすい一冊です。

町田 請求番号 文庫/ホ 10



檸檬

学校の教科書にも載るくらい有名な話です。主人公の気持ちや、背景が映像になって流れるかのような描き方で、癖になるととても魅力的な一冊です。

町田 請求番号 文庫/カ 24



クビキリサイクル

「掟上今日子の備忘録」や「物語シリーズ」で有名な西尾維新のデビュー作！個性あふれる名前のキャラクターたちや独特の言い回しに引き込まれます。

町田 請求番号 文庫/ニ 9

遠い太鼓

村上春樹氏が訪れた、ヨーロッパの国々に関するエッセイです。読んでいて、その国の雰囲気や味を、一緒に旅をしている気分になれます。

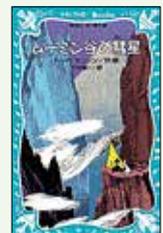
三番町 請求番号 文庫/ム 34



ムーミン谷の彗星

ムーミンの中でも有名な話であり、この話は映画化もしています。大人から子供まで楽しむことができる一冊。読むとほっこりするお話です。

町田 請求番号 993.61/ヤ 60



大江文庫からごきげんよう

東京家政学院大学 図書館報 第62号

ISSN 2189-2881

平成28年3月31日 発行

発行者：東京家政学院大学附属図書館

〒194-0292 東京都町田市相原町2600

電話：042-782-9815

印刷所：インフォテック